

日本オーケストラの父、近衛秀麿没後50年に寄せる

指揮：飯森範親 Norichika Iimori

日本各地のオーケストラで
主要ポストを担うマエストロ

ピアノ：松田華音 Kanon Matsuda

クラシック界の新スター
女流ピアニスト

越天楽（近衛秀麿による管弦楽版）

ショパン：ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 作品11（近衛秀麿編曲）

ムソルグスキー：組曲「展覧会の絵」（近衛秀麿編曲）

photographer：©山岸伸（飯森範親）、©Ayako Yamamoto（松田華音）

10/4

2023

[水] 18時開場/19時開演 サントリーホール

パシフィックフィルハーモニア東京

第160回定期演奏会

定期会員先行発売：6月13日[火] 一般発売：6月20日[火]

S席：8,000円 A席：6,500円 B席：5,000円 C席：4,000円

ご予約・お問い合わせ：PPTチケットデスク 03-6206-7356（平日10-18時）

パシフィックフィルハーモニア東京  ppt.or.jp



主催：一般社団法人パシフィックフィルハーモニア東京 助成：芸術文化振興基金



公益社団法人 企業メセナ協議会 助成認定活動



PACIFIC
PHILHARMONIA
TOKYO NORICHIKA IIMORI
MUSIC DIRECTOR

伝統に「革新」を取り入れる。

16th
PPT CONCERT

2023年は、わが国オーケストラ界の大恩人である近衛秀麿(1898～1973)の没後50年にあたる。天皇家にきわめて近い五摂家の筆頭・近衛家に生まれながら西洋音楽の魅力に取りつかれ、東京帝大を中退してベルリンで作曲と指揮を学び、1926年にNHK交響楽団の前身にあたる新交響楽団を創設。第二次大戦中は欧州で活躍し、帰国後も日本各地のオーケストラに客演を続けた先駆者である。

近衛は19世紀の大指揮者の伝統にならい、楽曲のオーケストレー

ションを大胆に改変した。近衛版『展覧会の絵』は、昭和初期にソ連の楽団に客演した際、手土産代わりに編曲したもの。冒頭のメロディはトランペットではなく弦楽合奏で奏でられ、ソ連の音楽家から「ラヴェル版よりムソルグスキーの野性味が伝わってくる」と絶賛されたという。管弦楽法の弱点を補ったショパンのピアノ協奏曲第1番、雅楽の響きを五線譜で見事に再現した『越天楽』と、近衛の功績を音で振り返る飯森=PPTの好企画だ。

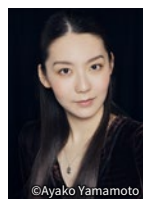
岩野裕一(音楽ジャーナリスト)



指揮:飯森範親 Norichika Iimori

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。01年、ドイツ・ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任し、日本ツアーも成功に導いた。国内では94年以來、東京交響楽団と密接な関係を続け、正指揮者、特別客演指揮者を歴任。06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞、07年より山形交響楽団音楽監督に就任、芸術総監督を経て、22年より同楽団桂冠指揮者。パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。23年4月より群馬交響楽団常任指揮者に就任。

オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>



ピアノ:松田華音 Kanon Matsuda

6歳よりモスクワで学ぶ。ロシア最高峰の名門、グネーシン記念中等(高等)学校で学び、スクリャービン記念博物館より2011年度「スクリャービン奨学生」に選ばれ、外国人初の最優秀生徒賞を受賞し首席で卒業。モスクワ音楽院に日本人初となるロシア政府特別奨学生として入学、2019年6月首席で卒業。2021年モスクワ音楽院大学院修了。これまでにミハイル・プレトニョフ、ワレリー・ゲルギエフ、アンドレア・パッティストーニ、ピエタリ・インキネン、秋山和慶、円光寺雅彦、尾高忠明、小林研一郎、高関健、飯森範親各氏の指揮の下、ロシア・ナショナル管弦楽団、マリンスキー歌劇場管弦楽団、プラハ交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団等と共演。ドイツ・グラモフォンより2枚のアルバムをリリース。2018年かがわ21世紀大賞受賞。

公式HP:<https://www.japanarts.co.jp/artist/kanonmatsuda/>



管弦楽:パシフィックフィルハーモニア東京 Pacific Philharmonia Tokyo

1990年「東京ニューシティ管弦楽団」として設立。定期演奏会等の自主公演の他、オペラ、バレエ、レコーディング、メディア出演、ポップス演奏会など幅広く活動。2018年からは楽団誕生の地・練馬で定期演奏会を開催し、地元根差した活動も行っている。音楽監督:飯森範親、指揮者:園田隆一郎、ポップスエグゼクティブプロデューサー:藤原いくろう

チケット購入

定期会員先行発売:6月13日[火] 一般発売:6月20日[火]

S:8,000円 A:6,500円 B:5,000円 C:4,000円

パシフィックフィルハーモニア東京 ppt.or.jp

PPTチケットデスク(平日10-18時) **03-6206-7356**



プレイガイド

- ・サントリーホールチケットセンター:0570-55-0017(10-18時)
- ・チケットぴあ <https://t.pia.jp>
- ・イープラス <https://eplus.jp>

割引

- ・シニア割引:10%OFF (60歳以上)
 - ・ユニバーサル割:10%OFF (障害者手帳をお持ちの方)
 - ・U25割:50%OFF (25歳以下)
 - ・団体割:10%OFF (10名様以上でのご予約者全員)
- ※この他の割引に関しては楽団のWEBサイトをご覧ください。

会場 **サントリーホール**

〒107-8403 東京都港区赤坂1-13-1
東京メトロ南北線六本木一丁目駅・東京メトロ銀座線・南北線溜池山王駅

メールマガジン・SNS **最新情報・お得な情報はここから**

LINE Twitter Instagram Facebook メールマガ登録

[注意事項] ※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※やむを得ず、出演者・演目が変更になる場合がございます。 ※公演中止の場合を除き、チケットのキャンセル・払い戻しは行いません。